

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

特別勘定の四半期運用実績レポート

2023年1～3月度

<目次>

1. 特別勘定の種類	1	ページ
2. 特別勘定の運用実績・状況	1	ページ
3. 運用環境の主な状況	2	ページ
4. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-5	ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項	6	ページ

[募集代理店]

株式会社東京スター銀行

TOKYO STAR BANK  東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

[引受保険会社]



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL **0120-933-399**

月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

(日・祝日および12月31日～1月3日を除く)

<https://www.axa.co.jp/>

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしていません。

当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、

これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、

将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の種類

特別勘定 [ファンド]名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
グローバル マーケット型	主に世界各国の株式、公社債に分散投資することによって、資産の中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。	アクサ・キャピタル・グローバル・ エクイティ・ファンド	アーキタス・マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド (B)〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ 株式会社
		アーキタス・ワールド・エクス・ジャパン・ バシブ・ボンド・ファンド	アーキタス・マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。

保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。

「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。

特別勘定の運用実績・状況

(2023年3月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	ユニット・プライス 2023年3月末	騰落率(%)					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
グローバルマーケット型	196.07	△ 0.02	4.29	0.82	△ 4.65	31.07	96.07

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

	グローバルマーケット型	
	金額	%
現預金・その他	56,033	3.3
その他有価証券	1,655,917	96.7
合計	1,711,950	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■ 日本株式市場

日本株式市場は上昇し、TOPIX(東証株価指数)は、前期末比+5.91%の2,003.50ポイントで終わりました。期初より、中国のゼロコロナ政策の終了や円安による業績回復期待、欧米株式市場の堅調な展開を受けて上昇して始まりました。その後、米国の地方銀行であるシリコンバレー銀行の破綻等を受けて金融不安に対する懸念から下落し、上昇幅を減らしました。金融不安を払拭すべく、米国政府が預金の全額保護を打ち出すなど迅速に対応したことを好感し、日本株式市場は期末にかけて上昇して引けました。

日本の小型株式市場は上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前期末比+0.38%の33,274.15ドルで終わりました。期初より、インフレのピークアウトを背景に政策金利の引き上げのペースが緩やかになるとの観測から、米国株式市場は堅調に始まりました。その後、米国の地方銀行であるシリコンバレー銀行が破綻したことにより、金融不安に対する懸念が高まり下落しました。期末にかけては、当局が預金の全額保護を打ち出す等迅速に対応したことや長期金利が低下したこと等を好感し値を戻し、下落幅を縮小しました。期を通じては上昇しました。

欧州株式市場は上昇し、独DAX指数は前期末比+12.25%、仏CAC40指数は前期末比+13.11%で終わりました。期初より、長期金利の低下や中国のゼロコロナ政策の終了による景気回復期待等から上昇して始まりました。その後、シリコンバレー銀行の破綻や欧州の大手金融機関であるクレディ・スイスの株価の急落等を背景とした金融不安に対する懸念により下落し、上昇幅を減少させました。期末にかけては、金融不安に対する懸念を払拭するために米国当局が迅速に対応したことやUBSがクレディ・スイスを救済買収したこと等を好感し上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、期末には0.351%となりました(前期末0.422%)。期の前半は、日銀の追加的な金融緩和の修正観測が根強く長期金利は上昇しました。その後、米国の地銀の破綻等を受けて金融不安に対する懸念が台頭し、欧米の金利が低下したことを受けて、期末にかけて日本の長期金利は低下しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、期末には3.468%となりました(前期末3.875%)。期初より、インフレのピークアウト感が出てきたことから、米国の長期金利は低下しました。その後、景気や物価の上振れを示す指標が発表されたことや「インフレが鎮静化しない場合、金融の引き締めを再加速させる」との発言がパウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長から出たことを受けて長期金利は上昇しました。期末にかけて、米国の地銀であるシリコンバレー銀行が破綻したこと等を受けて、金融不安に対する懸念が台頭し、米国の長期金利は低下しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、期末には2.292%となりました(前期末2.571%)。期初よりインフレのピークアウト感が出てきたことから、欧州の長期金利は低下しました。その後、米国の長期金利の上昇を受けて欧州の長期金利も上昇しました。期末にかけては、欧州の大手金融機関であるクレディ・スイスの株価が急落したことにより、金融不安に対する懸念が台頭したこと等を受けて欧州の長期金利は低下しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は、米ドル高円安となり、期末には前期末比+0.83円の133.53円となりました。米国金利の低下により、期初より米ドル高円安に振れる展開となりました。その後、景気や物価の上振れを示す経済指標が発表されたことを受けて米国の長期金利が上昇すると米ドル高円安の展開となりました。期末にかけては、米国の地方銀行であるシリコンバレー銀行が破綻したこと等を受けて米国の長期金利が低下したことから、米ドルは対円で下落し上昇幅を減らす展開となりました。期を通じては、米ドル高円安となりました。

ユーロ/円相場は、ユーロ高円安となり、期末には前期末比+4.25円の145.72円となりました。期初は、欧州の金融引き締めに対する観測と日銀の金融緩和に対する観測が拮抗し、概ね横這いの展開となりました。その後、欧州の長期金利が大幅に上昇したことを受けユーロは対円で大幅高の展開となりました。期末にかけては、欧州の大手金融機関であるクレディ・スイスの株価が大幅下落したことから、金融不安に対する懸念が台頭し、ユーロは対円で下落する局面もありましたが、UBSによる救済買収が決定するとユーロは対円で値を戻す展開となりました。

グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2023年3月末現在)

アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド

AXA Capital Global Equity Class I

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、世界の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてキャピタル・インターナショナル・マネジメント・カンパニーSARLを副投資マネージャーに任命しました。)

*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

249,580 百万円

■ 設定日

2021年10月27日

■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	1.38	11.00	9.25	△1.09	89.05	126.77

■ ベンチマーク

なし

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※投資信託の構造を見直し、運用報酬の引下げを行うことをご契約者の利便性を高めるための投資信託の変更を行いました。

そのため当ページで示している基準価額騰落率および基準価額の推移につきまして、2021年10月26日までは、変更前の「キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)」の基準価額に、2021年10月27日以降は、「アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド」のファンド価格に基づいて計測された数値を表示しています。

■ 基準価額の推移

※キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)の設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 293

	銘柄	国名	業種	%
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.24
2	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	2.64
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.32
4	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.09
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.93
6	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	1.54
7	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	1.46
8	ASTRAZENECA PLC	イギリス	ヘルスケア	1.40
9	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財・サービス	1.37
10	NESTLE SA-REG	スイス	生活必需品	1.32

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	48.75
2	フランス	8.77
3	イギリス	4.51
4	デンマーク	4.43
5	スイス	3.88

■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	18.61
2	ヘルスケア	17.48
3	一般消費財・サービス	12.65
4	資本財・サービス	11.24
5	金融	11.09

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2023年3月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

215 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

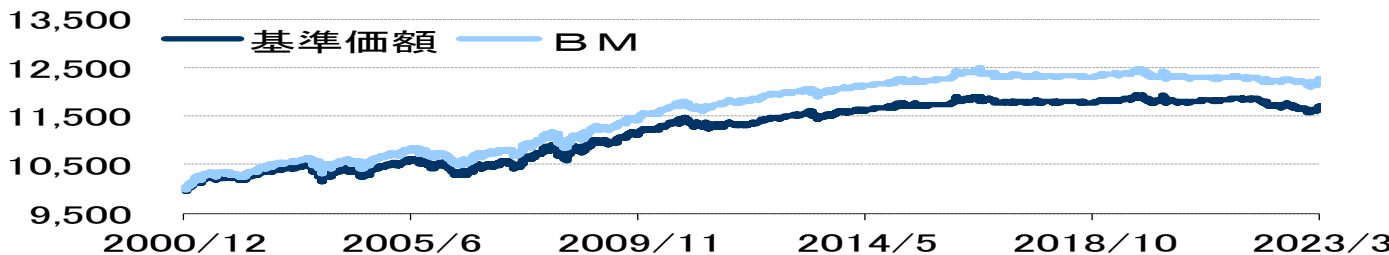
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.50	1.03	0.06	△ 0.38	△ 1.00	16.84
BM	0.64	0.89	0.19	0.15	△ 0.60	22.34
差異	△ 0.14	0.14	△ 0.13	△ 0.52	△ 0.40	△ 5.50

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	BNPパリバ	フランス	Baa1	A-	11.81
2	第156回利付国債(5年)	日本	-	A+	10.46
3	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.34
4	第7回HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.33
5	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.10
6	第1回サンタンデール銀行	スペイン	A2	A+	3.87

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	1.75
A	83.85
BBB	14.40
BB以下(無格付含)	0.00

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.76%
平均利回り	0.96%

■ 債券種別構成比率(%)

国債	13.45
地方債	1.06
特殊債・財投債	8.36
金融債	0.00
社債等	76.49
その他	0.00
短期資産等	0.65

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。

※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2023年3月末現在)

アーキタス・ワールド・エクス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド

Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン(報酬および費用控除前)を投資家に提供することを目指します。ベンチマークに連動した運用成果を目指します。純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債(政府機関債・地方債含む)に投資します。

*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

43,744 百万円

■ 設定日

2021年3月24日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス(除く日本)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

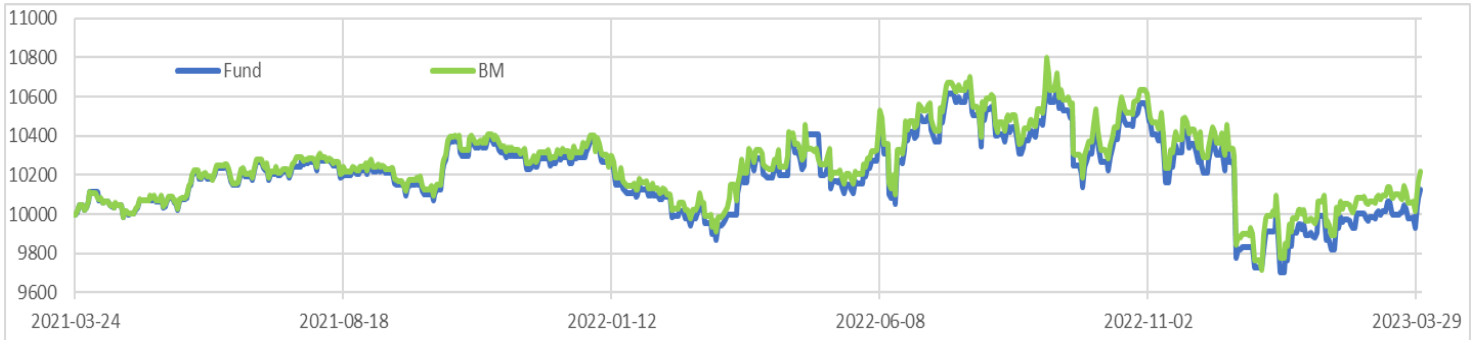
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	1.21	4.12	△1.79	△0.96	-	1.28
BM	1.28	4.60	△1.50	△0.50	-	2.17
差異	△0.07	△0.48	△0.29	△0.47	-	△0.89

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数: 530

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B - 1,875% 31 Aug 2024	アメリカ	1.03
2	US TREASURY N/B - 2,125% 31 Jul 2024	アメリカ	0.98
3	US TREASURY N/B - 2,5% 15 May 2024	アメリカ	0.89
4	US TREASURY N/B - 2% 15 Feb 2025	アメリカ	0.88
5	US TREASURY N/B - 1,75% 31 Dec 2024	アメリカ	0.88
6	US TREASURY N/B - 2% 30 Jun 2024	アメリカ	0.87

■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	49.39
2	フランス	8.24
3	イタリア	7.55
4	ドイツ	6.47
5	スペイン	5.04

■ 格付別構成比率(%)

AAA	56.85
AA	12.57
A	1.28
BBB	10.17
BB or Lower	0.00
Not Rated	18.40

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項



投資リスクについて

当保険商品の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなう投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。



元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。



諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5.0% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して(年率 0.75% +運用実績に応じた費用 [*])/365日を毎日控除します。 [*] 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過した場合のみ、超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) を控除します。
年金管理費 ^{*1}	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費 ^{*2*3}	グローバルマーケット型 年率0.55804%程度^{*4}

^{*1} 年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

^{*2} 資産運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。

^{*3} 資産運用関係費は将来変更されることがあります。

^{*4} 資産運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。



その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。